

日本においても性的少数者についての認識が急速に広まりつつあります。しかし、その理解や支援のあり方は十分とはいえ、いじめなどの被害経験や孤立感を抱えている子どもたちが多く存在します。特に思春期は性や自己に対する関心が高まる時期であり、悩みや不適応が顕在化しやすいといえます。また、学校生活といった日常の中で困難感を強く感じることがあります。本講座では、思春期における多様な性のあり方の課題と支援について、政策、臨床、発達・教育の視点から考えます。

□ 13:00～14:00

「アメリカと日本における性の多様性の理解と
その支援の現状と問題点 — 比較社会学の視点から —」

アメリカと日本のLGBT教育の歴史と現状、その理解と支援のあり方、日本におけるLGBT教育のこれからについて

鈴木 健之氏 山梨大学大学院 総合研究部 教授

□ 14:00～15:00

「性同一性障害の思春期 — 当事者の立場から」

性同一性障害の当事者の立場から、子ども時代、学生時代、友人や家族との関係、そして現在について

加藤 悠京氏 「桜梅桃李、自分らしく。— 性同一性障害 —」の著者

□ 15:15～16:15

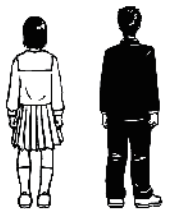
ディスカッション 「思春期における性的少数者への支援のあり方」

性的少数者の思春期の子どもたちへ社会として取り組むべき課題、教育現場での課題と対応、心理的支援について考えます。

鈴木 健之氏 ・ 加藤 悠京氏

梶屋 二郎氏 東京医科大学茨城医療センター 精神科 科長・准教授

堀江 まゆみ 白梅学園大学子ども学部 教授



7/17
申込み開始

2018年

10月28日(日) 13:00～16:15

- 会場 東京医科大学病院 講義室 (東京メトロ丸ノ内線「西新宿駅」下車(東京医大病院前))
- 受講対象者 幼児期から思春期の子どもに関わる大人(保護者、教員、臨床現場の方、研究者)
- 受講定員 100名 (定員になり次第締め切ります)
- 受講料 2,000円 受講料割引(10%割引)適用講座
- 主催 白梅学園大学・白梅学園短期大学 地域交流研究センター
- 共催 東京医科大学精神医学分野

※申込み方法等詳細は裏面をご覧ください。

思春期における性の多様性とその支援について考える

申込み要領

- 日 時 2018年10月28日(日) 13:00～16:15
- 受講対象者 幼児期から思春期の子どもに関わる大人(保護者、教員、臨床現場の方、研究者)
- 受講定員 100名(定員になり次第締め切ります)
- 受講料 2,000円 受講料割引(10%割引)適用講座
 ※申込書確認後、送付される振込用紙にて支払期限日までにお支払いください。
- 申込み方法 右記QRコードを読み取りWEBサイトからお申込みいただくか、
 申込書を記入の上、下記宛先へFAXまたは郵送にてお申込みください。
 ※開催日の2日前までにお申込みいただきますようお願いいたします。
- 申込み先 白梅学園大学・白梅学園短期大学 地域交流研究センター
 〒187-8570 東京都小平市小川町1-830
 TEL 042-313-5990 FAX 042-346-5652
<http://daigaku.shiraume.ac.jp/openlecture/>

WEBサイト



会場

東京医科大学病院(東京都新宿区西新宿6-7-1) <http://hospinfo.tokyo-med.ac.jp/access.html>

大学病院構内は現在工事中です。

会場は、病院内ではなく、青梅街道側から赤線で入る第一研究教育棟の3階にあります。



- JR「新宿駅」(西口)から徒歩10分
- 都営大江戸線「都庁前駅」から徒歩7分
- 東京メトロ丸ノ内線「西新宿駅」(東京医大病院前)から徒歩3分
- 出口E5 エスカレーターをのぼると正面玄関前に出ます。
- 出口2 改札を出て右側(エレベーターがあります)

